

# 水難事故のあらまし

～令和2年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

## 目 次

第 1	水難事故の発生状況	
1	概況 -----	1
2	過去 10 年間の発生状況 -----	2
3	月別発生状況 -----	3
4	場所別発生状況 -----	4
5	態様別発生状況 -----	5
6	曜日別発生状況 -----	6
7	原因別発生状況 -----	6
8	年齢別発生状況 -----	7
9	子ども（中学生以下）の水難事故発生状況 -----	8
10	高齢者（65 歳以上）の水難事故発生状況 -----	9
11	居住地別事故者数 -----	10
第 2	水難救助活動の状況	
1	出動状況 -----	10
2	救助事例 -----	11
3	水難救助訓練実施状況 -----	11
4	小型船舶操縦士の養成 -----	12
第 3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策 -----	12
2	水難事故防止広報活動 -----	13

### 表 紙 写 真

川辺町、飛騨川における水難救助訓練  
(令和 2 年 9 月撮影)

# 第1 水難事故の発生状況

## 1 概況

[令和2年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生41件（前年比+17件）、事故者43人（前年比+18人）

[事故者の内訳]

- 死亡 21人（前年比 +4人）
- 行方不明 0人（前年比 ±0人）
- 負傷 8人（前年比 +6人）
- 無事救助 14人（前年比 +8人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数・事故者数がともに大幅に増加
- 発生件数全体の46%（19件）が8月に集中
- 発生件数全体の約93%（38件）が河川で発生、うち約32%（12件）が長良川で発生
- 魚釣り・魚取り中の事故が最多（14件、前年比+5件）
- 高齢者（65歳以上）の事故が全体の約39%を占める。

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
令和2年	41	43	21	0	3	5	14
令和元年	24	25	17	0	1	1	6
増減	+17	+18	+4	±0	+2	+4	+8



警察航空隊・機動隊員による水難救助訓練

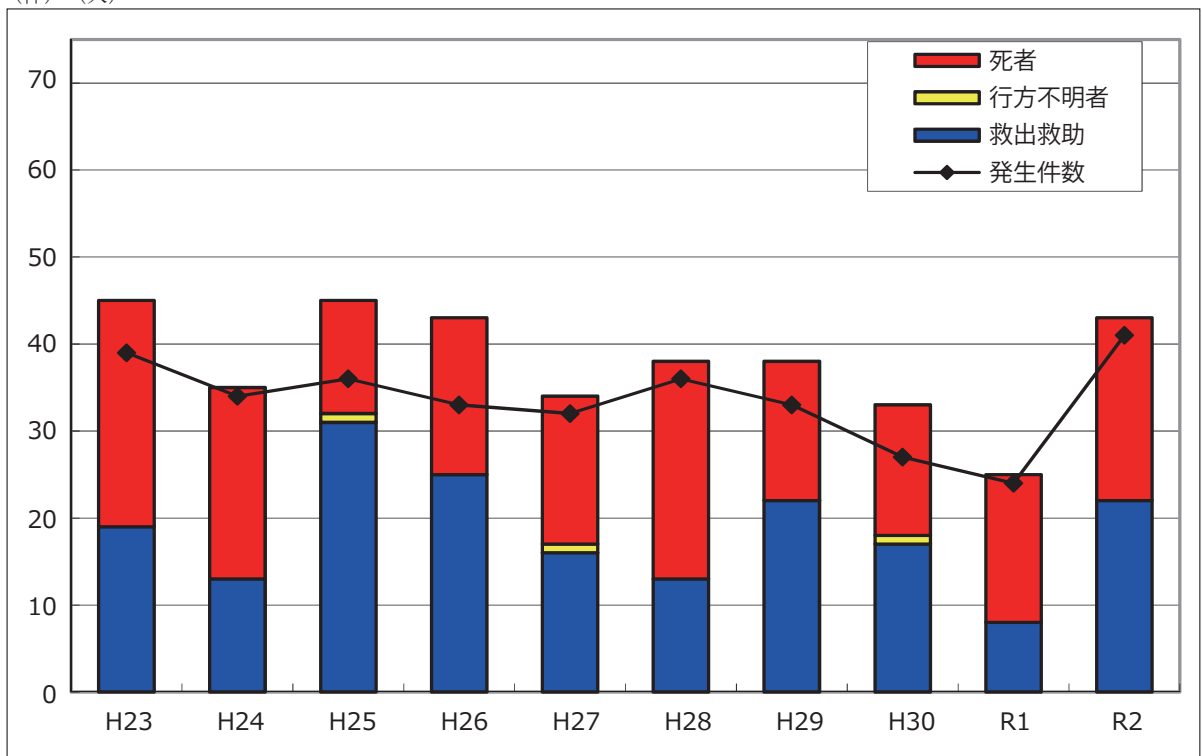
## 2 過去10年間の発生状況

- 前年に比べ、発生件数・事故者数とも増加し、発生件数では過去10年間で最も高い数値となった。

[過去10年間の発生状況]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)			
		死亡	行方不明	救出救助	
平成23年	39	45	26		19
平成24年	34	35	22		13
平成25年	36	45	13	1	31
平成26年	33	43	18		25
平成27年	32	34	17	1	16
平成28年	36	38	25		13
平成29年	33	38	16		22
平成30年	27	33	15	1	17
令和元年	24	25	17		8
令和2年	41	43	21		22

(件) (人)



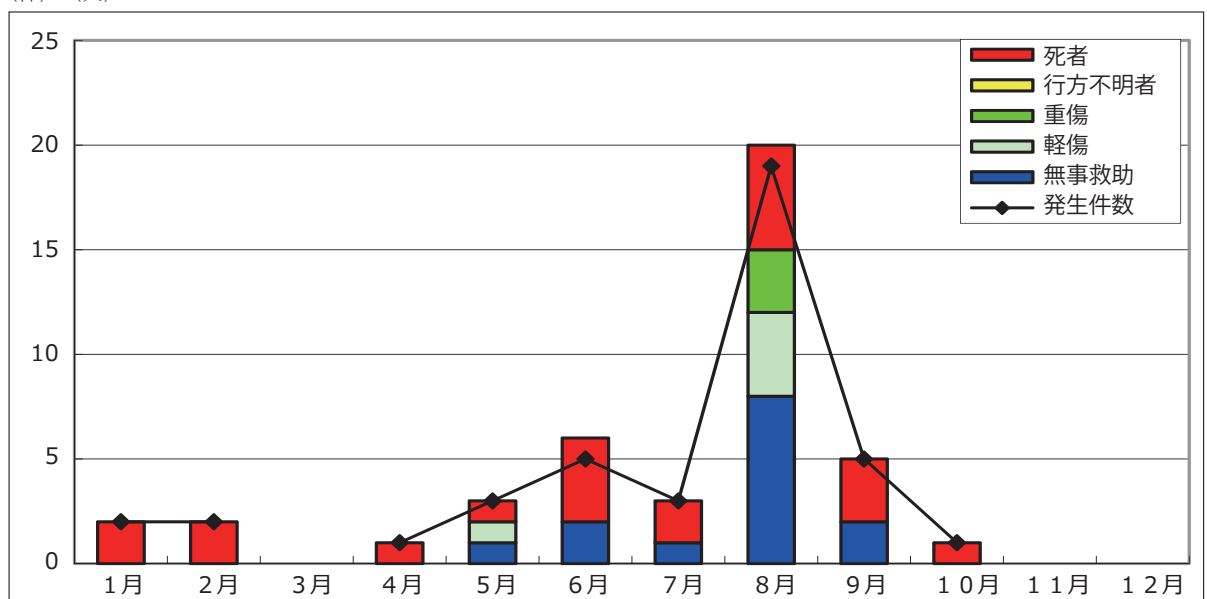
### 3 月別発生状況

- 8月の発生が、19件（前年比+7件）で全体の46%を占めている。  
 事故者数は20人（前年比+8人）で、内訳は、死亡5人（前年比-3人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助15人（前年比+11人）であった。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
1月	2	2	2				
2月	2	2	2				
3月							
4月	1	1	1				
5月	3	3	1			1	1
6月	5	6	4				2
7月	3	3	2				1
8月	19	20	5		3	4	8
9月	5	5	3				2
10月	1	1	1				
11月							
12月							
合計	41	43	21		3	5	14

(件) (人)



## 4 場所別発生状況

○ 河川での事故が最も多く、38件（前年比+17件）発生し、全体の約93%を占めている。

事故者数は40人（前年比+18人）で、内訳は、死亡18人（前年比+3人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助22人（前年比+15人）であった。

○ 河川別では、長良川での発生が最も多く、12件（前年比+3件）発生し、河川全体の約32%を占めている。

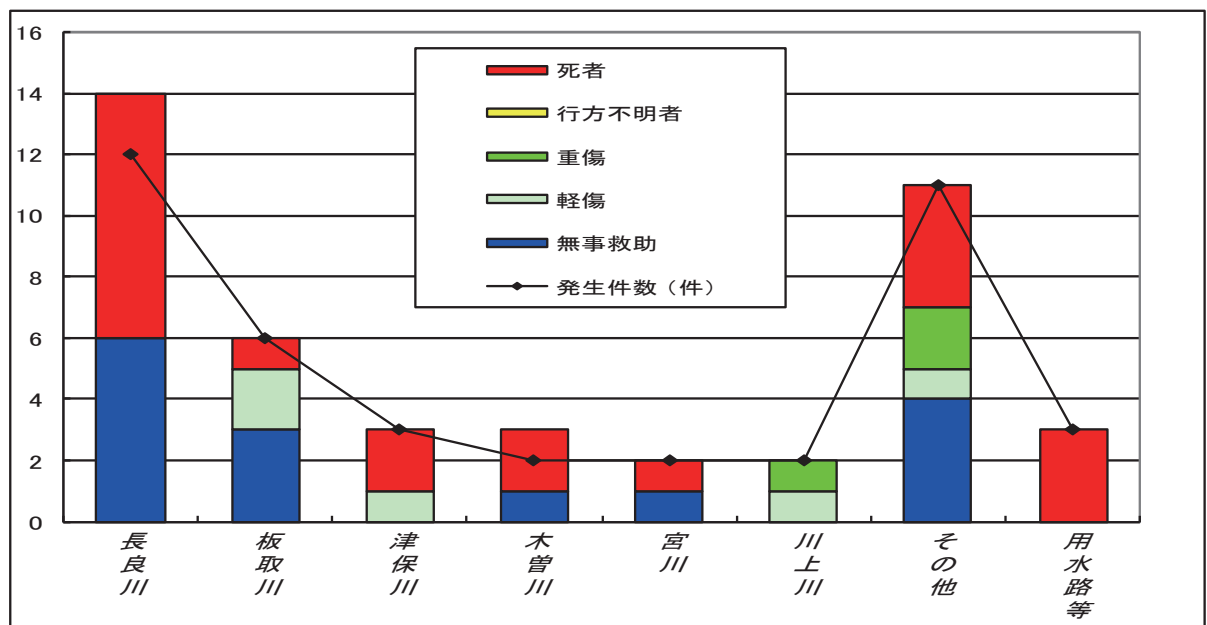
事故者数は14人（前年比+5人）で、内訳は、死亡8人（前年比±0人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助6人（前年比+5人）であった。

[場所別発生状況]

区分 場所別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
河川	38	40	18		3	5	14
長良川	12	14	8				6
板取川	6	6	1			2	3
津保川	3	3	2			1	
木曾川	2	2	2				
宮川	2	2	1				1
川上川	2	2			1	1	
※他の河川	11	11	4		2	1	4
用水路等	3	3	3				
合計	41	43	21		3	5	14

※ 他の河川（黒川、荘川、付知川、中津川、根尾川、飛騨川、日永川、武儀川、吉田川、和良川、銚子谷）

(件) (人)



## 5 態様別発生状況

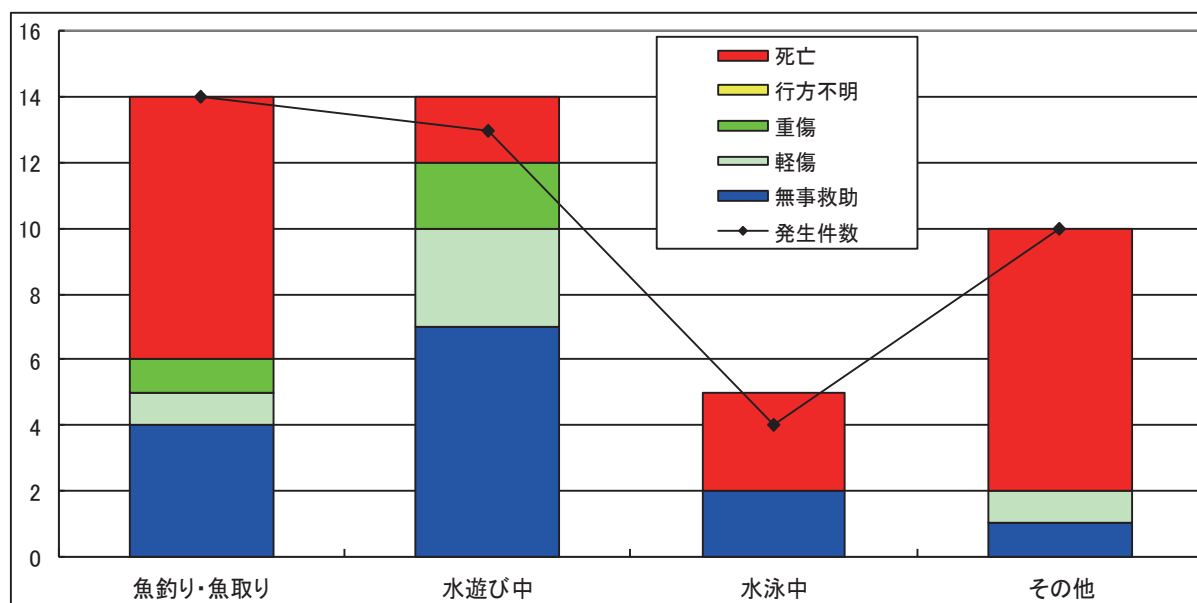
- 魚釣り・魚取り中の事故が最も多く、14件（前年比+5件）発生し、全体の約34%を占めている。

事故者数は14人（前年比+5人）で、内訳は、死亡8人（前年比±0人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助6人（前年比+5人）であった。

[態様別発生状況]

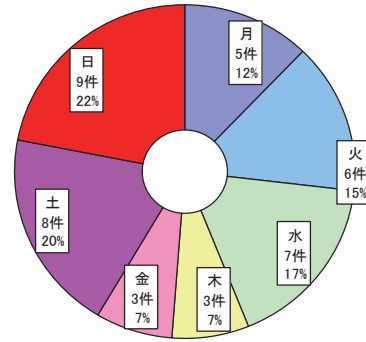
区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
魚釣り・魚取り中	14	14	8		1	1	4
水遊び中	13	14	2		2	3	7
水泳中	4	5	3				2
その他	10	10	8			1	1
合計	41	43	21		3	5	14

(件) (人)



## 6 曜日別発生状況

- 日曜日の発生が9件（前年比+3件）と最も多く、全体の約22%を占めている。



## 7 原因別発生状況

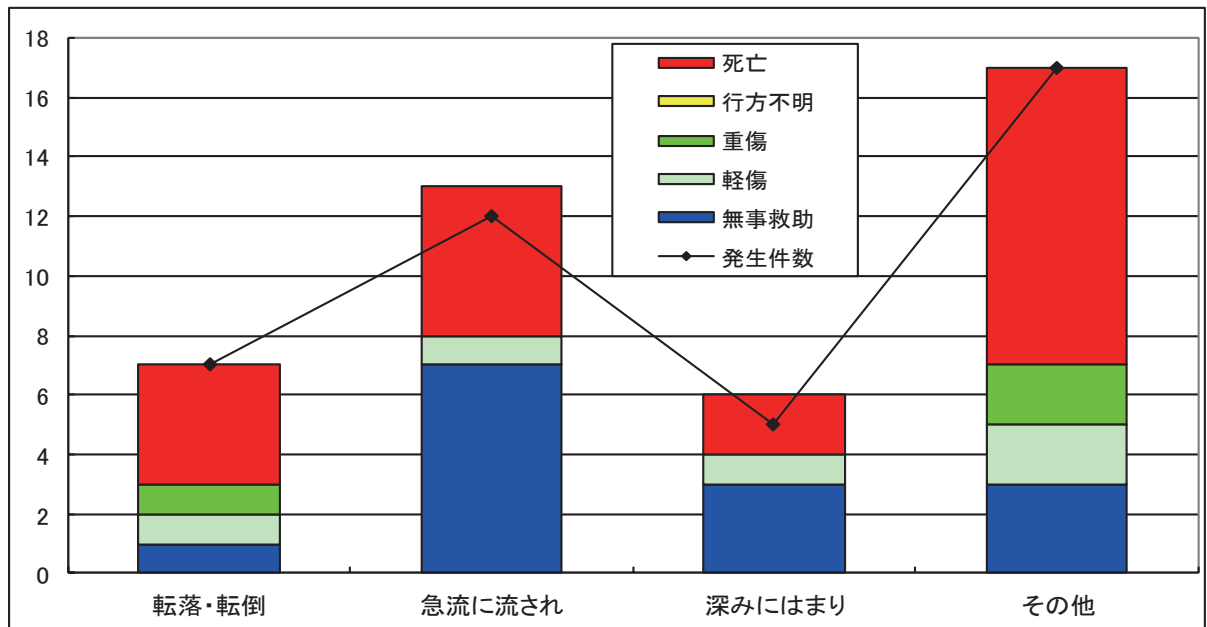
- 急流に流されたことによる事故の発生が、12件（前年比+8件）13人（前年比+8人）と最も多い。

事故者数の内訳は、死亡5人（前年比+4人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助8人（前年比+4人）であった。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
転落・転倒	7	7	4		1	1	1
急流に流され	12	13	5			1	7
深みにはまり	5	6	2			1	3
その他	17	17	10		2	2	3
合計	41	43	21		3	5	14

(件) (人)





## 8 年齢別発生状況

○ 65歳以上の事故が16人（前年比+5人）と最も多く、全体の約37%を占めている。

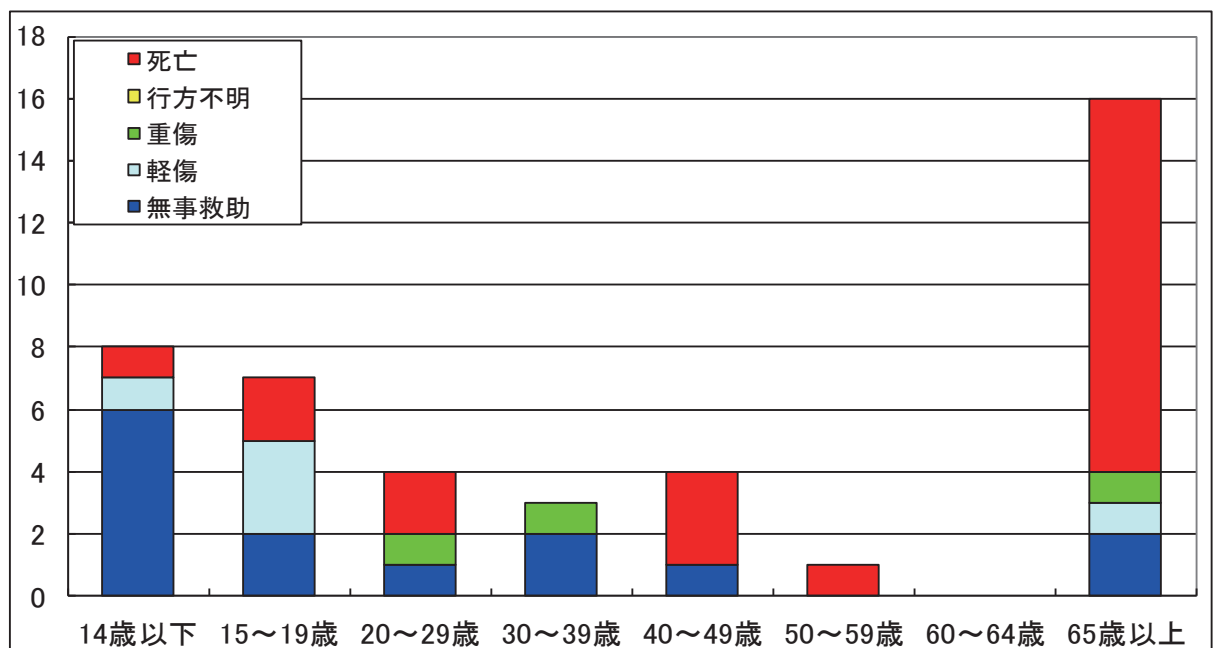
事故者数の内訳は、死亡12人（前年比+1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助4人（前年比+4人）であった。

次いで、14歳以下の事故が8人（前年比+4人）と多く、全体の約19%を占めている。

[年齢別発生状況]

区 分 年 齢 別	事 故 者 数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	8	1			1	6
15～19歳	7	2			3	2
20～29歳	4	2		1		1
30～39歳	3			1		2
40～49歳	4	3				1
50～59歳	1	1				
60～64歳						
65歳以上	16	12		1	1	2
合 計	43	21		3	5	14

(人)



## 9 子ども（中学生以下）の水難事故発生状況

- 子ども（中学生以下）の事故の発生が、6件（前年比+3件）8人（前年比+4人）であった。

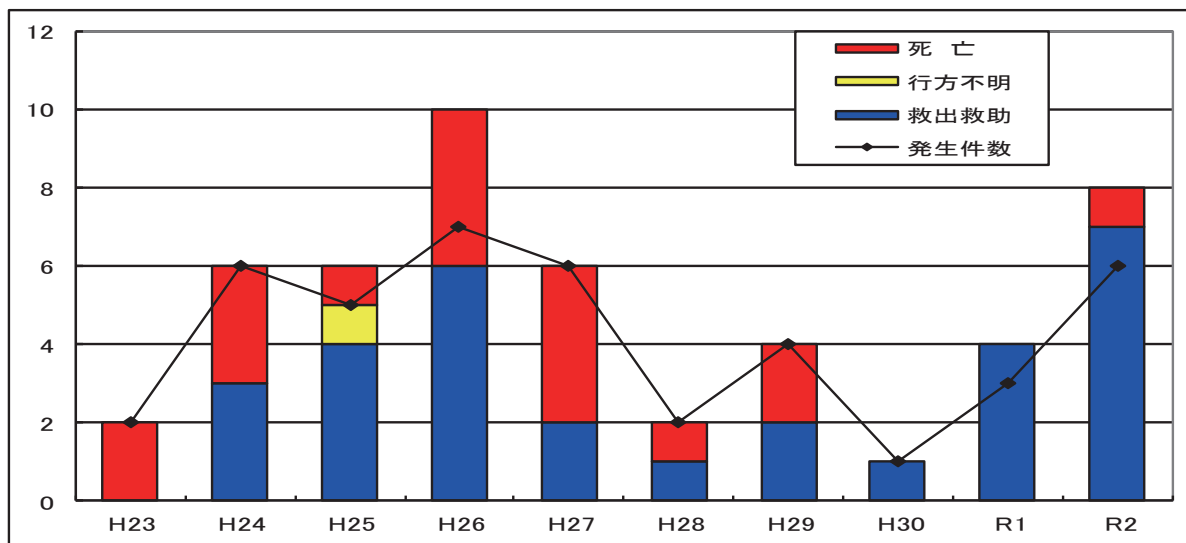
[子ども（中学生以下）の態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
水遊び		5	6	1	5
水泳中		1	2		2
合計		6	8	1	7

[過去10年間における子供（中学生以下）の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
平成23年		2	2		
平成24年		6	6		3
平成25年		5	6	1	4
平成26年		7	10		6
平成27年		6	6		2
平成28年		2	2		1
平成29年		4	4		2
平成30年		1	1		1
令和元年		3	4		4
令和2年		6	8	1	7

(件) (人)



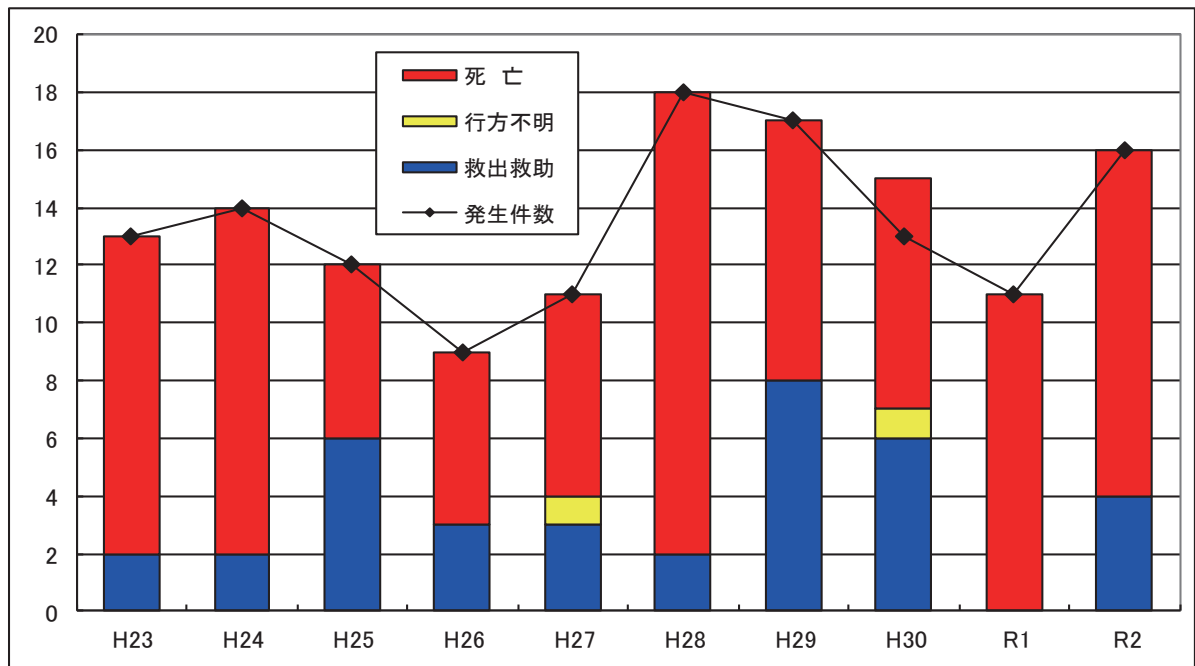
## 10 高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況

- 高齢者（65歳以上）の事故の発生が、16件（前年比+5件）16人（前年比+5人）で、発生件数、事故者数ともに増加した。  
事故者数の内訳は、死亡12人（前年比+1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助4人（前年比+4人）であった。
- 事故態様については、16件中、11件が魚釣り・魚取り中の事故であった。

[過去10年間における高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況]

区 分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)			
		死 亡	行方不明	救出救助	
平成23年	13	13	11	2	
平成24年	14	14	12	2	
平成25年	12	12	6	6	
平成26年	9	9	6	3	
平成27年	11	11	7	1	
平成28年	18	18	16	2	
平成29年	17	17	9	8	
平成30年	13	15	8	1	
令和元年	11	11	11		
令和2年	16	16	12	4	

(件) (人)



## 11 居住地別事故者数

- 事故者を居住地別にみると、県内居住者が28人（前年比+13人）と最も多く、次いで愛知県居住者が12人（前年比+3人）、大阪府居住者が3人（前年比+3人）、であった。

[居住地別事故者数]

区 分 県 別	事 故 者 数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
岐 阜 県	28	16		2	2	8
愛 知 県	12	5			3	4
大 阪 府	3			1		2
合 計	43	21		3	5	14

## 第2 水難救助活動の状況

### 1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ409人、消防署（団）員が延べ607人出動した。
- 県警及び県防災のヘリコプターが7件の事故に対し延べ10回、警察・消防等の舟艇が7件の事故に対し延べ12回出動した。

区 分 年 別	発生件数 (件)	出動状況 (人)		ヘリ出動		舟艇出動	
		警察官	消 防	件数	回数	件数	回数
令和2年	41	409	607	7	10	7	12
令和元年	24	318	484	4	5	4	6
増 減	+17	+91	+123	+3	+5	+3	+6



機動隊員による救助活動

## 2 救助事例

- 8月6日、関市板取川において高齢男性が急流に流され、岩にしがみつき救助を求めている所を発見し、仲間で協力し合いボートを使い無事救助した。



関警察署長から感謝状を授与

## 3 水難救助訓練実施状況

- 県内には、長良川、木曾川、揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。

機動隊及び各警察署では、水難事故に対して迅速かつ的確な救助活動を行うため、独自又は消防機関等と合同で水難救助訓練を実施した。



装備資機材取扱訓練



舟艇訓練



模擬水難者救助訓練



消防機関との合同水難救助訓練

## 4 小型船舶操縦士の養成

- 水事故難の発生時において、舟艇を活用した水難救助活動を迅速的確に実施するため、水難救助用の小型船舶が配備されている警察署や機動隊の警察官を対象に「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

## 第3 その他

### 1 水上バイク等の事故防止対策

- レジャーの多様化、アウトドアスポーツの普及により、河川の利用環境は変化しており、遊泳者や釣り人等の第三者を巻き込んだレジャー事故の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、広報啓発用看板の設置や河川のパトロールを実施するなどの活動を推進した。
- 令2年中、水上バイクなどによる事故は0件であった。

[過去5年間における水上バイク等の事故発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 総 数 (人)			
		死亡	負傷	救出救助	
平成28年	1	4	2	2	
平成29年	1	1		1	
平成30年	4	5	1	4	
令和元年	0	0			
令和2年	0	0			

## 2 水難事故防止広報活動

県下の警察署では、7～8月の夏期に、関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、遊泳者、水上バイク利用者、釣り人などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 郡上署では、夏の河川レジャーシーズンや鮎釣り解禁を控え、6月9日、水難事故等防止運動出発式を開催し、ライフジャケットの着用等と呼びかけた。
- 飛騨署では、6月20日、宮川下流の鮎釣り解禁に合わせて、河川における水難事故防止など、広報啓発活動を行った。
- 北方署では、7月24日、本巣市内万代橋下流の根尾川河川敷において、本巣交番連絡協議会員等とともに、バーベキューや遊泳客に対して事故防止広報啓発活動を行った。
- 関署では、8月8日～10日、水難事故多発を受け、長良川美濃橋付近において美濃土木事務所職員等とともに、ライフジャケットの着用等と呼びかけた。
- 揖斐署では、8月21日、高知川において揖斐土木事務所と連携して、川遊びに訪れた家族連れなどに対して署員が制作した広報チラシを配るなど、水難事故防止に向けた広報啓発活動を実施した。



水難事故防止出発式(郡上署)



遊泳者に対する広報(牧田川)



鮎釣り客に対する広報(宮川)



水難事故が多発した水域



広報チラシ(揖斐署員作成)



郡上市水上安全環境保全連絡協議会が制作したライフジャケット

